



済生会ニュース

平成21年7月1日発行 三重県松阪市朝日町一区15番地の6 駐 0598-51-2626代／FAX 0598-51-6557
<http://www.matsusaka.saiseikai.or.jp>



フィルムレスについて

放射線科 寺 田 尚 弘

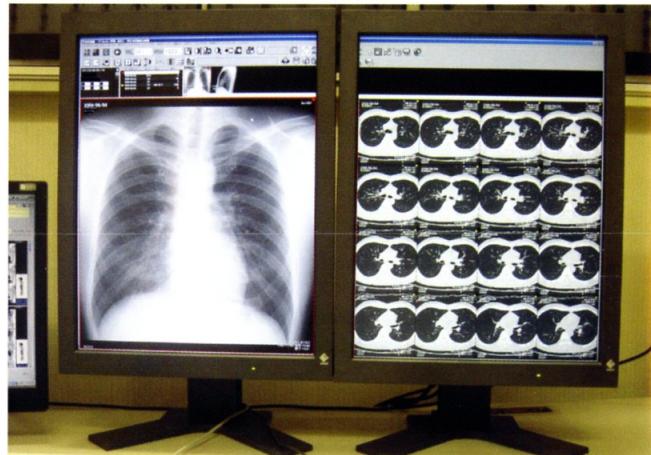
最近、写真を撮るのもほとんどデジタルカメラになっていますね。フィルムのカメラを見かけることが少なくなっています。実は、それと同じようなことが病院でも起っています。そのことについて少しお話ししてみたいと思います。

放射線科で検査を受けられたことがありますか？放射線科の検査には、「はい、息を大きく吸って。止めてください」と言われて写すレントゲンや、横になっているとベッドが移動して体の輪切りの写真がとれるCT検査、同じように移動するベッドに寝ていて工事現場みたいな大きな音のするMRI検査などがあります。これらの検査画像はフィルムに印刷され、診断をしたり持ち帰ってもらったりしていました。しかし、先日導入した最新のシステムで、状況が大きく変わりました。

まず、フィルムに印刷することはなくなりました。そのかわり「モニタ診断」といってテレビのような画面で画像を見て診断することができるようになりました。これには、色々なメリットがあります。

例えば、以前に撮影した画像と今日撮影した画像を比べたい時、これまでだと過去のフィルム袋を探し、運んできてもらうことが必要でした。フィルムというのはとても重いものです。それに、たくさんの棚の中から、必要なものを探し出すのはなかなか大変な仕事です。保管する場所にも気をつかいます。湿気のある場所、日当たりのよい場所では劣化してしまいますし、収納できる広い部屋が必要でした。

新しいシステムには、既にモニタ上に過去何年間分の画像一覧が表示されています。選んで表示させるだけで、簡単に比較することができるのです。



また画像は、何を見るかによって明るさや濃度を変えなくてはなりません。例えば骨のようなものを見る場合と肺を見る場合では、全く異なった濃度にする必要があります。フィルムでは、一度印刷すると明るさや濃度が固定されてしまいますが、モニタ診断であれば後からいくらでも調整し直すことができます。

細かいところを見たい時には画像の拡大もできますので、小さな病気を大きく表示させてはっきり確認することができます。

診断した結果は、放射線科医がパソコン上のレポートシステムに書いていきます。その時、診断の鍵となる画像（異常がある部分の画像）を貼り付けておきますので、一目見てどんな状態かがわかるようになっています。各科の医師は、このレポートを参考にして患者のみなさんへ病気の説明をします。診察室にもモニタが設置されていますので、御自分の検査画像を見ていただくことができるようになっています。

紹介元の医院に画像を持っていったり、別の病院に参考のために画像を持っていったりする場合には、主治医におっしゃっていただければ画像をCDに焼いてお渡しすることができるようになりました。CD 1枚にはたくさんの画像が入りますので、フィルムをお持ち帰りいただいた時に比べて、ずっと軽く、楽に持ち運びできます。

私たちの病院では、患者のみなさんに検査を受けていただき、病気を早期に発見し、適切な治療ができる仕事を心がけています。今回のシステム導入で、それらのことがまた一段と進歩したと思っています。



神経内科外来

神経内科部長 坂井利行

今回は、「神経内科外来」をご紹介いたします。「神経内科」は、高齢化社会真っ只中の本邦において大きな役目を担っています。今後も大いに期待されている診療科です。歳をとるにしたがい、脳の老化や衰え、そして脳血管の病気が突然襲ってきます。認知症、脳卒中は当科で扱う代表的な疾患ですが、頭痛、ふらつき・めまい、しひれ、ふるえ、歩行困難などを訴えて、多くの患者様が当科外来を訪れます。しかし、神経内科専門医は、他科の専門医に比べて絶対数が大変不足しているのが現状で、日々精一杯の診療活動をしていますが、お待ちいただくことがあると思います。

当科では、常に「患者様から学ばせていただく」という理念を大切にしています。診療から臨床学問、そして教育を念頭において、日々努力を重ねています。

今回は、このような当科の努力が多くの患者様に高い評価をしていただいた一例を述べたいと思います。最近では、病院や医師がインターネットなどで否応なしに評価され、その結果が雑誌などにおいて公表される機会が増えています。患者20万人アンケートによるオリコン・エンタテイメント「患者が決めたいい病院」の近畿・東海版において、頭痛部門で、当院神経内科は第6位に評価されています。**三重県内では堂々の第1位です。**医療水準、医師の説明、医師・看護師の接遇などが評価の対象になり、総合的に患者様が判断された好ましい結果になりました。また、数少ない『Good Doctor』にも選出されています。

神経系に異常を感じたら、お気軽にご相談ください。



冷製トマトの含め煮



材料 (4人分)

トマト	4個
青じそ	8枚
A { ソース	大さじ2・1/2杯
みりん	大さじ1杯

作り方

- ①トマトは皮に切れ目を入れ熱湯にさっとひたし、皮をむく。へたは小さめにくり抜く。
 - ②鍋に水3カップを入れて火にかけ、沸騰したらAを加え、弱火にしてクッキングシートで落しふたをして20分ほど煮て、そのまま冷ます。
 - ③あら熱がとれたら冷蔵庫で冷やし、器に盛り、青じそのせん切りを添える。
- (1人分54kcal 塩分1.9g)



トマト

トマトのビタミンCはたんぱく質と結びついてコラーゲンを作り出し、血管や肌の細胞同士をしっかりと結びつけ、血栓予防になります。また、胃液の分泌を促進し疲労物質の乳酸を除去してくれるケエン酸やリンゴ酸も多く含まれているので、疲労回復にも効果があります。

冷蔵庫で冷やすと美味しい料理なので、時間のある時に作り置きしておくことをおすすめします！

管理栄養士：村林 由紀

おくすり通信

済生会松阪総合病院 薬剤部



【今日はTDMについてお話しします】

TDM(therapeutic drug monitoring)とは血液中の薬物濃度を測定し、その値から投与量や投与間隔を計算・調整する手法で、当院でも行なっています。

TDMが保険適用になっている代表的な薬剤は以下のものがあります。

強心薬 (ジゴキシン®、ハーフジゴキシン®、ラニラピッド®)
抗てんかん薬 (デパケンR®、セレニカR®、アレビアチーン®、フェノバルール®、エクセグラン®、テグレトール®)
気管支拡張薬 (テオドール®、ユニフィル®)
抗不整脈薬 (リスモダンR®、メキシチール®、サンリズム®、アンカロン®)
免疫抑制剤 (ネオーラル®)
抗MRSA薬 (バンコマイシン®、タゴシット®、ハベカシン®)

たとえ年齢、体重が同じであっても肝機能や腎機能などの違いにより薬の代謝は各個人で異なります。特に治療域と中毒域が近い薬物や、少しの投与量の変化で大幅に血中濃度が変化する薬物では投与量の設定が難しく、副作用防止のためにもTDMが必要となります。また自己判断で薬を飲んだり飲まなかったりすると、血中濃度が安定せず、正確な投与量を決める事ができません。用法・用量を必ず守って服用して下さい。

何かご不明な点があれば薬剤部までお尋ねください。





知って得する病気の話

脱水症について

小児科 老谷嘉市

すべての生物の祖先は海で誕生し、進化を遂げて人間になりました。人間を構成する細胞が正常な機能、健康を保つためには、細胞を取りまく体液（血漿など細胞外液）を一定（海水に近い状態）に調節する必要があります。細胞外液の量や成分の調節には腎臓が働きます。老廃物を除去するためには尿や便が必要で、不足したものは経口的に摂取する必要があります。起床時に口が渴いたと感じ、尿が濃いのは軽い脱水にあることを示しています。

脱水とは水分と電解質（主に食塩、塩化ナトリウム）の不足を意味し、高張性（体内塩分濃度が高い）と低張性（体内塩分濃度が低い）に分けることが出来ます（別表参照）。

脱水症の原因となる病気として、**①水分摂取量の減少**（感染症・胃腸炎・口内炎による食欲低下・肺炎・喘息による呼吸障害、脳炎・髄膜炎による嘔吐や意識障害、心不全などの水分摂取制限など）**②失われる水分の増加**（感染症などの嘔吐、胃腸炎による下痢、腎不全による多尿、発熱・高温・やけどによる水分の喪失）などがあります。

脱水症が疑われたとき、発症後の日数・水分摂取量・体重変化・嘔吐や下痢の頻度性状・尿量・熱の経過・目の落ちくぼみ・口や舌皮膚の乾燥・元気さ・意識や精神状態を観察し、脱水の程度を判定します。軽症（体重5%減少）、中等症（10%）、重症（15%）に分類されます。

治療としては水分と電解質の補充で、経口摂取が可能であれば1/2濃度の生理食塩水・カリウム・糖を含む経口補水療法（ORS経口補水液）が最適です。市販の多くのイオン水は運動時使用のためのもので塩分濃度がやや少なく設定され、さらに吸収を早くするため低浸透圧（ハイポトニック）のイオン飲料もあります。嘔気が強いときは一時的な絶飲食も必要で、可能なら少量を頻回に与えます。脱水が重症、ないしは経口摂取不能の場合は輸液が必要になります。血液検査で電解質をチェックして適切な組成の輸液を行い、原因疾患の治療も必要です。

症 状	高張性脱水(水欠乏)	低張性脱水(食塩欠乏)
口 渴	(+++)	(-)
倦怠感	(+)衰弱感	(++++)
立ちくらみ	末期になるまで(-)	(++)
尿 量	乏尿	末期になるまで正常
血漿 NaCl	軽度上昇または減少	減少(++)
嘔 吐	(-)	(-)～(++)
痙攣	(-)精神障害	(-)～(++)
尿素窒素上昇	(+)	(++)
血漿 量	末期になるまで正常	減少(++)
血液 濃縮	末期になるまで軽度	重度(++)
血 壓	末期になるまで正常	低下(++)
病 態	浸透圧↑、細胞内脱水	末梢性循環不全

無線 LAN、PDA (Personal Data Assistance) を使った医療安全対策の導入

安全管理室 浅尾真理子

当院は平成21年5月より、医療事故防止支援システムを導入しました。PDAとはバーコードによる、患者さんに対する医療行為の確認システムです。病院内無線LANと携帯型端末の応用で「いつ」「誰が」「誰に」「どんな処置」を実施したかの自動記録ができ、間違いの予防ができるシステムです。

ご覧にならないと、いったい何のことか分かりにくいと思いますが、入院された患者さんが点滴を受けるまでを、簡単に説明します。

病室を訪問し、今から実施する点滴について説明してから点滴の内容、用法・用量と患者さんを確認し、実施します。「人はエラーを起こす生き物である」というヒューマンエラーの防止を前提としたシステム化・ITの積極的活用が必要になってきました。



患者さんに説明



実施者のIDを認証



リストバンドで患者さんのお名前を確認



点滴ラベルで、用法、容量、薬品名の認証



安全な実施



研修医紹介

現在7名の研修医が1年目研修としてがんばっています。
外来、病棟、救急等で見かけることがあると思いますが、
よろしくお願い致します。



海野 宏至 吉澤 尚彦 景山 裕紀 黒田 直起 西井 正彦 竹内 俊文 中西 綾佳

■ 外来診療担当表

(2009年7月1日)

★担当医は変更になることもあります。

●受付時間 8:00~12:00 (診療科と曜日によって多少変更あります)

●休診日 土・日曜日、祝祭日、年末年始(12/30~1/3)、創立記念日(5/30)

		月	火	水	木	金
内 科	一診					
	二診	須川 正宏	李 由紀	垂見 敏明	須川 正宏	小田 裕靖
	三診	保田憲基(午後) (予約のみ)	稻垣 悠二	矢津 卓宏	加藤 慎也	保田 憲基
	四診	橋本 章	橋本 章	脇田 喜弘	河俣 浩之	河俣 浩之
	五診	清水 敦哉	上村 泰弘	上村 泰弘	大学医師(午前)	上村 泰弘
	六診	垣本 齊	南川 光三	小林 稔彦	小林 稔彦	南川 光三
	七診 消化器外来	中島 啓吾	清水 敦哉	中島 啓吾	清水 敦哉	脇田 喜弘
	八診 循環器外来	加藤 慎也	垂見 敏明	垣本 齊	保田 憲基	矢津 卓宏
外 科	一診	藤森 健而	長沼 達史	長沼 達史	近藤 昭信	田中 穢
	二診	田中 穢	近藤 昭信	伊藤 貴洋	伊藤 貴洋	長沼 達史
	午後		外科医師(肛門)			外科医師(乳腺)
健診センター(乳腺外来)		李 由紀	柏倉 由実			
脳 神 經 外 科	一診	諸岡 芳人	黒木 香行	諸岡 芳人		諸岡 芳人
	二診	村田 浩人	清水 重利	村田 浩人	清水 重利	黒木 香行
整形外科	一診	今原 敏博	交代	竹上 謙次	竹上 謙次	今原 敏博
	二診	友田 良太		森本 政司	友田 良太	森本 政司
	三診	飯田 竜		松井佑梨世	飯田 竜	松井佑梨世
	午後			乳児検診(要予約) (4ヶ月)	竹上謙次(腰痛外来) (要予約・紹介のみ)	
産婦人科	午 前	一診	高倉 哲司	前沢 忠志	高倉 哲司	菅谷 健
		二診	竹内 茂人	高倉 哲司	前沢 忠志	前沢 忠志
		三診				竹内 茂人
	午 後				高倉哲司(1ヶ月検診)	
	紹 介 約 み の み	一診		手 術		手 術
		二診			手 術	手 術
ART・ 生殖医療 センター (完全予約制)	午 前	三診			乳房外来(要予約)	
	午 後					
		一診再診	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健
		二診再診	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人	竹内 茂人
		一診新患	菅谷 健	菅谷 健		手 術
		二診新患	竹内 茂人	竹内 茂人	手 術	
小 兒 科	夕 診	一診再診	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健	菅谷 健
		二診再診	竹内 茂人	竹内 茂人		竹内 茂人
眼 科	午 前	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市	老谷 嘉市
	午 後		予防接種	乳児検診 (1ヶ月・4ヶ月)	老谷 嘉市 アレルギー外来(第1木曜)	乳児検診 (7ヶ月以降)
皮 膚 科						
耳 鼻 咽 喉 科			大学医師受付10:00まで	フットケア外来(午前) (要予約)		
泌尿器科						大学医師
神 経 内 科	一診	森 倭	小川 和彦	森 倭	柳川 真	金原 弘幸
	二診(新患)	小川 和彦	柳川 真	金原 弘幸	小川 和彦	柳川 真
麻 醉 科		坂井 利行	近藤 昌秀	坂井 利行	近藤 昌秀	神経内科医師
放射線科	宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子	宮村とよ子
	車 武丸	車 有紀	車 武丸	車 有紀	車 武丸	車 武丸
口腔 外 科	寺田尚弘/里見知恵子	中川 俊男	加藤 幹愛	中川 俊男	中川 俊男	中川 俊男
	放射線治療	笛岡 政宏(午後)				山下 恭史(午前)
	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一	佐藤 耕一
	上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史	上田 貴史